

感謝

12月中旬から時間を作り、校長室の整理整頓をしました。一度もあけていないロッカーもすべて中を確認し、処分できるものは処分し、どこに何を片付ければよいかを考え収納し直しました。私の場合、このような作業をしている時間に、結構言葉やアイデアが降りてくることがあります。降りてきた言葉、例えば学校だよりに使うキーワードや自分自身の心がけ（時には「戒め」）にしたいものなどを目の前のホワイトボードに書く習慣があります。ホワイトボードに現在残っている言葉は、「反省→生かす 小さな失敗の中に大きな流れを変えるものはないか、要チェック」、「困ったら原点に戻る」、「ねらいから評価する、振り返りをねらいに戻す」、「見えるもの・見えないもの、根を養えば樹おのずと育つ」が残っています。

私自身、この2学期に小さなミスや失敗はたくさんしてきました。大きなミスをする、周りからも非難されますし、場合によって指導を受けます。だから、自分自身の反省にはつなげやすいです。そして、反省することで改善がなされ、大きな流れは変わらないですが、小さなミスは、自分の心に留まりにくく、同じようなミスを繰り返し、問題をより大きくしまうこともあります。だから、学校や集団がよい方向へいっているときには、そういう視点をもって振り返ることも大切だと思います。

人生はうまくいかないことが多いですし、きちんと努力していてもうまくいかないときがあります。私は、そういうときには、「困ったら原点に戻る」の如く、自分自身の大切にしている考えに戻って行動するようにしています。私の場合、難しいことはひとまず横に置いて、「時を守り 場を浄め 礼を正す」と言い聞かせています。時間を守って余裕をもって行動する、自分の身の回りをきれいにする、場合によっては普段しないようなところの掃除を試みる、とにかく挨拶をしっかりと行い、礼を失しないように心がける、等です。逆に言えば、そういう簡単なことをおろそかにしたときに大きなミスや失敗をすることが多いです。

いつの頃からか、一日の終わりに日誌をつけるようになりました。スケジュール帳の下の部分に、寝る前にその日にできたことや頑張ったことを書いて自分をねぎらってから寝るようにしています。極力プラスのことを見つけて書くようにしていますが、どうしてもそれが見つからずネガティブな内容の日もあります。改めて読み直すことはまずないですが、ぎっしり書き込まれた手帳を見ると、不思議と力になります。一日一日を丁寧に生きたいです。最近、よく出てくるフレーズは「感謝」です。今年現場に戻していただき、様々なご縁を感じ、多くの人に支えてもらい、また助けてもらったことに感謝しています。充実した幸せな一年間だったと思います。ありがとうございました。突然、インド独立の父であるアハマド・ガンディー（1869～1948）の言葉が降りてきました。「明日死ぬかのように生き、永遠に生きるかのように学ぶ」。(2023. 12. 25)